

農作物を守るため女子高生^{わな}罾師、奮闘中！

コミック **罾ガール** が異例のヒット

——担当編集者が語る

KADOKAWA『電撃マオウ』編集部 浅川 哲

農作物への鳥獣被害が深刻化する昨今、「わな罾免許」を所持する女子高生が野生動物を罾で捕獲するコミックが話題です。KADOKAWA発行の月刊コミック誌『電撃マオウ』に連載中の『罾ガール』。今回、担当編集者に連載の経緯や作品の魅力を解説してもらいます。次のページからは描き下ろしコミックも特別掲載！



『罾ガール』①～③
定価：570～580円+税
発行：KADOKAWA

『罾ガール』の作者・緑山のぶひろさんとは、別の漫画家さんからのご紹介で出会いました。「家が農家で、罾でイノシシを捕まえている漫画家がいる」というお話だったので、ぜひ一度話を聞いてみたいと思い、連絡先を伺って、その日のうちに電話したのを覚えています。

当初、編集部から緑山さんへは「罾獵」と「ドジな女の子」を組み合わせた、コメディ路線のコミックをオファーしていました。ですが、緑山さんと打ち合わせを重ねる中で、農家にとって鳥獣被害がいかに深刻なモノであるか説明を受けたり、捕獲されたイノシシの動画を拝見したりして、これは「現実をそのまま描いたほうがドラマになる」という方向で意見が一致し、今の内容に仕上がっていきました。緑山さんも、「中山間地域の鳥獣被害が社会問題になっていて、それを自分が身をもって体感している中で、多くの人に実情を漫画で知ってもらえれば」ということで執筆を決断くださいました。

『罾ガール』は、ぱっと見はかわいくてノンビリした雰囲気作品ですが、その中身は鳥獣被害と罾獵をリアルに真面目に描いています。生活を守るための罾獵であり、動物との命のやりとりでもあります。そこまで理解して読むと、のほほんとして罾獵をやっているキャラクターたちが、そのギャップもあって、とてもたくましく、とても応援したくなるのが本作の魅力と思っています。コミックを通して罾獵の現実を知ってもらい、さらにその先にある、おいしい作物を育てる農業の喜びを伝えられる作品を目指して、今後も緑山先生をサポートしていきたいと思っています。また、作中のセリフで「作物をおいしく作るだけでも大変なのに、害獣対策もやるとなると……まいっちゃうね」とある通り、農家の皆さまは、今、本当にご苦労されていると思いますが、本作を読んで「うんうん、こんなことあるある」と笑っていただければ、うれしい限りです。今後とも、『罾ガール』へのご声援を何とぞよろしくお願いいたします！

特別描き下ろしのご挨拶コミックをお届け!

罠ガール

出張版

WANA GIRL

リアル農家マンガ家ノ

緑山のぶひろ



登場人物



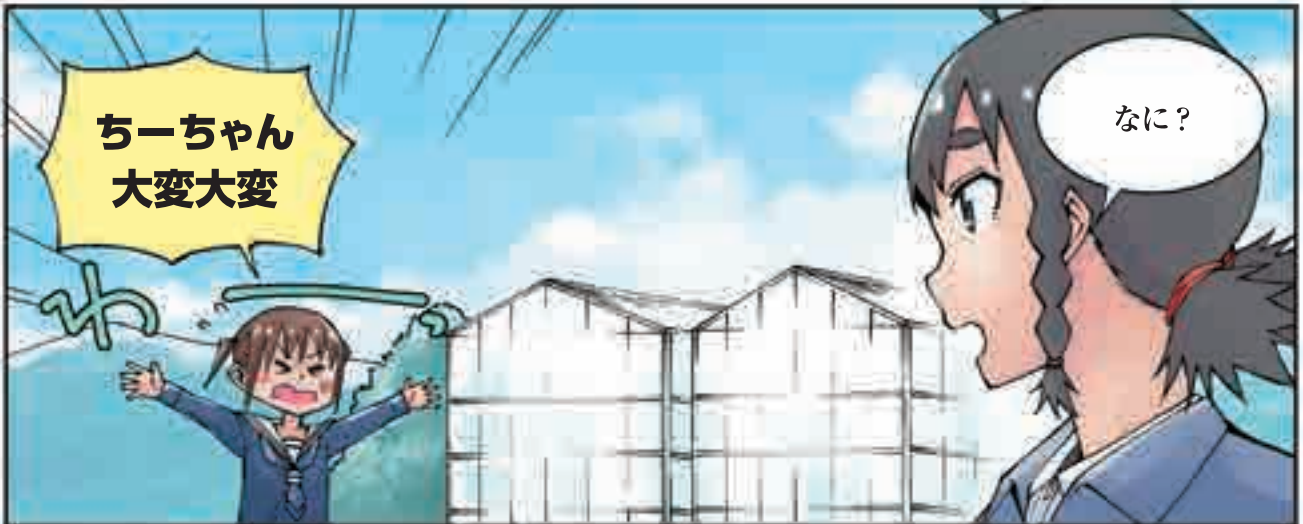
朝比奈千代丸 ● 田舎暮らしの高校3年生で「わな猟免許」を持っている。農師としてはまだまだ駆け出し。



昼間レモン ● 千代丸とは幼馴染。おばあちゃんの畑を守るため、千代丸の指導の元に「わな猟免許」を取得。



夜空つもじ ● 千代丸たちと同年で生徒会長を務める。祖父が猟師なので、いろいろなジビエ料理に詳しい。



『畏ガール』の試し読みはWEBサイト「コミックウォーカー」で無料配信中!



○
△
×
☆
!!
(完)